



# エオクリン



スケールを抑制し、温泉の安定供給を実現します。



● 自然 + 人 + 未来 ●

**Enex**  
株式会社エオネックス

## ■スケール抑制剤のポイント

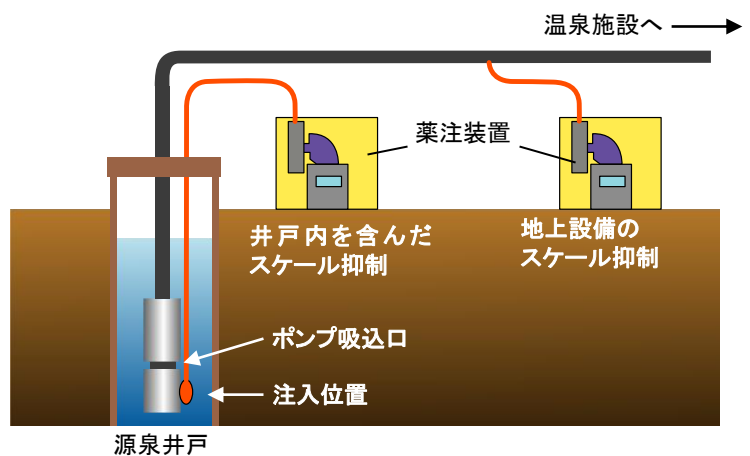
- ・温泉の泉質は源泉によって異なるため、源泉毎にスケール抑制剤を選定する必要があります。
- ・泉質に合わないスケール抑制剤は、本来の抑制効果が得られない場合があります。

## ■泉質の検査から温泉スケール抑制剤を選定

- ・弊社では社内試験による泉質の検査を行い、最も効果の高い抑制剤\*を選定します。
- ※エオクリーンA、エオクリーンP、エオクリーンWより一種類を選定。

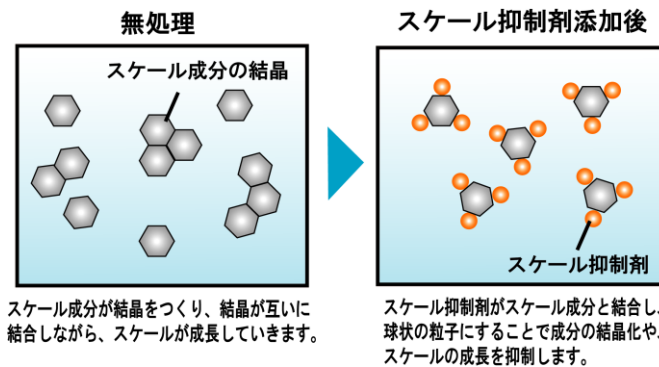
## ■使用方法

- 使用濃度  
温泉水量に対し5~20mg/L  
(温泉水1m<sup>3</sup>に対し5~20g 注入してください。)
- 注入方法  
送湯量に対して流量比例注入するか、送湯ポンプと連動して連続注入してください。
- 注入箇所
  - ・井戸内に注入する場合は、できるだけ吸込口より下に注入してください。
  - ・地上設備に注入する場合は、塩素注入箇所からできるだけ離れた源泉側に注入してください。



## ■作用機構

カルシウムなどのスケール成分が互いに結合して結晶を生成する際、スケール抑制剤が取り込まれることで結晶を歪める作用があります。歪められた結晶は結晶同士の結合や金属表面への吸着力が弱められ、スケール化が抑制されます。



## ■実施例

	樹脂製ろ材
無処理 1年後	
エオクリーン 処理 1年後	

## ■荷姿

エオクリーン A	エオクリーン P	エオクリーン W
10kg バッグインボックス	10kg バッグインボックス	10kg バッグインボックス